

事業コード	H16-建-継-25		区分	国庫補助・県単独
事業名	広域河川改修事業		部局名	建設交通部
事業種別	河川改修		課室班名	河川課 河川防災海岸班 (tel) 2516
路線名等	二級河川 馬路川		担当課長名	進藤 鋼
箇所名	秋田市金足岩瀬		担当者名	主幹 佐々木 和雄
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	02	施策名	災害に強い県土づくり
	目標コード	06	施策目標名	河川整備率

1. 事業の概要

事業期間	H5~H23(19年)	総事業費	31.94億円	国庫補助率	1/2		
事業規模	計画高水流量90(m³/s) 延長 L=1,570m 掘削 V=59,500m³ 護岸工 A=9,000m² 治水安全度 1/30 橋梁 5橋 取排水樋管 20基						
事業の立案に至る背景	馬路川は、秋田市と昭和町を貫流し八郎潟に流入する二級河川である。 当該区間は、川幅が狭く降雨の度に家屋の浸水、田畑の冠水が発生する水害常襲地帯である。 平成7年度から「床上浸水対策特別緊急事業」として、一部区間について事業の促進を図っているが、引き続き河積の不足している区間の拡幅を進めていくものである。						
事業目的	S62.8洪水規模相当の浸水被害を防止するため、法線の是正を図り河積の拡大を行い、浸水被害の解消を図る。						
事業費内訳 事業内容	(単位:千円)						
		全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降	
	事業費	3,194,000	2,494,000	70,000	70,000	560,000	
	経費内訳	工事費	1,613,000	1,233,000	49,278	13,000	317,722
		用補費	1,112,000	896,300	3,972	53,250	158,478
		その他	469,000	364,700	16,750	3,750	83,800
	財源内訳	国庫補助	1,597,000	1,247,000	35,000	35,000	280,000
県債		1,437,300	1,122,300	31,500	31,500	252,000	
その他							
事業内容	159,700	124,700	3,500	3,500	28,000		
事業内容	築堤、掘削工 護岸工、橋梁工、取排水用補、測試	築堤、掘削工 護岸工、橋梁工、取排水用補、測試	橋梁工、用補 測試	護岸工、用補 測試	築堤、掘削工 護岸工、橋梁工、取排水工 用補、測試		
事業推進上の課題	○ 特になし。						
上位計画での位置付け	○ あきた21総合計画の中で河川の氾濫から人命や財産を守り、安全で安全で安心な地域をつくる河川改修の推進に位置づけられている。						
関連プロジェクト等	特になし。						
事業を取り巻く情勢の変化	○ 当該区間は、降雨の度に洪水被害が発生しているため、地元から改修要望の声が高く、早期の完成が望ましい。						
事業効果把握の手法及び効果	指標名	河川整備率		データ等の出典	県河川課		
	指標の種類	成果指標 (業績指標)		把握の時期			
	指標式	河川整備率 = 改修延長 / 要改修延長			16年 3月		
	目標値 a	43.8					
	実績値 b	44.2					
達成率 b/a	100.9%						

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	指摘事項への対応

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	○ 当該区間は浸水常襲地域であり、特にS62. 8洪水では221戸の家屋が浸水した。	点 3 4
緊 急 性	○ 当該河川は、流下能力が40%未満と低く、年に少なくとも3回以上は浸水被害を蒙っており、早急に改修が必要である。 ○ 人家連担地であるため、水防計画重要水防区域として位置づけられている。	点 1 5
有 効 性	○ あきた21総合計画に位置づけられており、改修により災害防止効果の発現が期待される。	点 1 7
効 率 性	○ 事業の費用便益比は2. 19であり効率性は高い。 ○ 事業費は、従来の護岸より安価な護岸ブロックの使用によりコスト縮減を検討している。	点 1 1
熟 度	○ 地元の改修に対する意向が強く、早急に改修を進める必要がある。	点 1 0
判 定	ランク（ ○ ） 地元からの要望も高く、重要性、事業の有効性、効率性等から必要性は高く評価できるものとする。	点 8 7
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 改善して継続 見直し 中止 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度は高く、事業は継続すべきと考える。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価および対応方針を可とする。

別表7 (25)

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所 (継続箇所)

事業コード (H16-建-継-25) 箇所名 (馬踏川 秋田市金足岩瀬)

適用事業名 河川改修事業

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況				23		
	浸水戸数	50戸以上		10	10		
		49～10戸		7			
		10戸未満		3			
	浸水面積	60ha以上		10	10		
		59～10ha		7			
		10ha未満		3			
	重要な公共施設	3施設以上		5	3		
		2～1施設		3			
	整備計画の策定					3	
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み			5	3	
		協議中であるが特段問題ない			3		
		策定に着手していないが予定がある			1		
	事業の進捗状況					8	
	進捗率	計画より進捗している			5	3	
概ね進捗(90～100%未満)			3				
計画より遅れている(90%未満)			1				
今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる			5	5		
	将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない			3			
	課題は解決の見込みが無く事業が停滞する			1			
計				40	34		
緊急性	災害発生の危険度				10		
	改修目標流量に対する 現況流下能力	40%未満		10	10		
		40～59%		7			
		60%以上		3			
	秋田県水防計画					5	
	重要水防地域	評定基準区分A			5	5	
評定基準区分B			3				
計				15	15		
有効性	上位計画への貢献度				5		
	あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い			5	5	
		施策目標に間接的に貢献する			3		
		施策目標とは別のその他関連事業である			1		
	河川整備の有効性					12	
	安全度	災害防止等効果が発現する			5	5	
		災害防止効果は現状と変わらない			2		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる			7	7	
親水性は現状と変わらない			3				
地域開発の状況	都市計画区域の存する地域			3	1		
	地域開発の計画がある			1			
計				20	17		
効率性	事業の投資効果				5		
	費用便益比(B/C)	2.0以上			5	5	
		1.0以上～2.0未満			3		
		1.0未満			1		
	事業実施コストの縮減					1	
	該当項目数	3項目以上			5	1	
		2項目			3		
		無しまたは1項目			1		
	当初計画との比較					5	
	当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加			5	5	
10%以上30%未満の増加			3				
30%以上の増加			1				
計				15	11		
熟度	環境との調和への配慮状況				5		
	環境保全への配慮	十分に配慮されている			5	5	
		配慮が不十分で検討している			3		
		特に配慮はない			0		
	地元との合意形成の状況					5	
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている			5	5	
意向が強く要件の同意を概ね得ている			3				
意向が一部で強いがまた要件の同意は得ていない			1				
計				10	10		
合計				100	87		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
○	優先度がかなり高い	80点以上	87	
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		